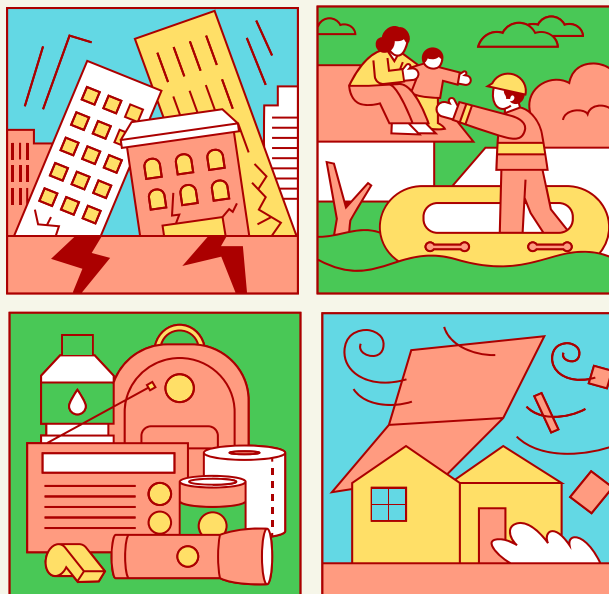


災害時に 求められる 福祉看護師の 役割とは



内容

- ・災害がおきてしまったその時に…
- ・災害想定・施設のBCP把握してますか？
- ・医療専門職としての必要な視点とは
- ・普段からできる備え
- ・グループワーク（情報交換）

6月18日(水)

13:30～16:30

近年の異常気象、30年以内に80%の確率で発生するといわれている南海トラフ地震。実際に災害が起きた時、施設の利用者をどのように守ることができるのか。本研修では、実際に被災地支援を行った講師より、被災した福祉施設がどういった状況にあり、何に困ったのか。また、日ごろからどのような備えが必要なのか。福祉施設の看護師として求められる役割について学びます。

講師

坂元 明子 氏（ふれ愛の館しおん 地域密着型特別養護老人ホーム 課長）
特別養護老人ホームの看護師として従事。
令和6年1月に能登半島地震、9月に能登半島豪雨災害の支援活動に参加。
派遣された老人施設にて、看護師として支援活動をおこなう。

方法

職場または自宅からZoomによるオンライン講義・演習
※案内2枚目「オンライン研修（Zoom）にお申込みされるにあたって」に記載されている受講環境が必要です。

対象

大阪府内の高齢・障がい分野の福祉施設で働く保健師並びに看護師
※保健師・看護師以外の方も申し込みが可能ですが、定員を超える場合は上記対象者が優先となります。

参加費

3000円/1名 定員 80名（先着順）

申込締切

令和7年5月22日（木）※定員に達し次第締切

福祉施設で働く看護師の
受講者同士でオンライン情報交換！

お問い合わせ

大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター
研修グループ

【TEL】06-6762-9035

研修グループHP
より簡単申込！

大阪府社協 研修

お申込みは
こちらから！